

SIT037-P10

会場:コンベンションホール

時間: 5月26日17:15-18:45

## イタリアフィネロ岩体の超苦鉄質・苦鉄質シュードタキライト様岩の微細構造観察

### Ultramafic and mafic pseudotachylyte-like rocks in the Finero complex, the Western Italian Alps

針金 由美子<sup>1\*</sup>, 森下 知晃<sup>1</sup>

Yumiko Harigane<sup>1\*</sup>, Tomoaki Morishita<sup>1</sup>

<sup>1</sup>金沢大学FSO機構

<sup>1</sup>FSO, Kanazawa Univ.

イタリア北西部に位置するフィネロ岩体は超苦鉄質岩と苦鉄質岩からなる複合岩体であり、アルプス造山運動の間アフリカプレートの下部地殻の断片がヨーロッパプレートに付加したと考えられるイベリア-ベルバノ帯の基盤岩の一部を表す。フィネロ岩体においても周囲の岩体と同様に、小規模ではあるがシュードタキライト様の岩脈が多数観察されている。しかし、これらのシュードタキライト様岩脈の微細構造や形成条件については曖昧なままである。そこで、フィネロ岩体から採取された苦鉄質・超苦鉄質シュードタキライト様岩石の微細構造観察を行い、フィネロ岩体に発達するシュードタキライト様岩の形成条件と発達過程について考察する。本研究で解析するシュードタキライト様岩は、2007年及び2009年に行われたフィネロ岩体調査によって採取された苦鉄質及び超苦鉄質シュードタキライト様岩を用いた。本発表ではこれらの岩石についての微細構造観察と主要鉱物科学組成の結果を示し、その特徴について紹介する。

キーワード:シュードタキライト様岩石,フィネロ岩体

Keywords: Pseudotachylyte-like rock, Finero massif